

熊本徳島県人会の歩み

誕生・生い立ちのいきさつ

★戦後、まだ進駐軍がいた昭和25、6年の混乱期。熊本にいた四国の人の中で、とりわけ数が多く勢いのよかった隣県の鹿児島、宮崎などの県人会に刺激されてか「まず四国出身者の会ができまいか」という話が持ち上がったそうです。MPが駐留していた熊本市内の中華料理店「東洋軒」の経営者が高知県人だったこともあり、何かやろうとの機運があったことは事実のようですが、徳島県の関係者がどれだけいたか、会結成までいったのか、定かではありません。

☆はっきりしているのは、同30年代になってから、戦中、戦後にかけ、熊本にやってきた人たちが中心となり、ようやく土地の人達とも打ち解け、実績も積んできたおかげで、県人会が実現したのです。その土台の一つに「徳島大学、あるいは徳島工医専と、熊本大学、女子大(現県立大)、熊本商大(現学園大)」とのひとの交流があります。今日も鳴門会メンバーに学者や医者が多数おられ、大きな看板になっていますが、徳島と熊本間に、こうした県人の行き来が長年あったとは、誠に異例のことで不思議です。

★一方、熊本の地で商売を始め、経済的に基盤を築いてきた人たちの存在も大きく、それぞれ事情は違っても、一からの出発、それも新しい地で社業を起こしながら県人会の世話をしてきた、現会長・谷脇源資氏ら、『平成23年より名誉会長』現役の経済人(別掲)の働きも忘れることはできません。強いて分けますと、主に草創期を学者・先駆者のグループが、第2期、躍進期はこれら実業家が支えてきたとも言えます。その精神を二代目が、また最近では三代目が受け継ぎ、伝えていいこうという頼もしい面もうかがえます。世代替りで先行きを心配する向きもありますが、郷土徳島で暮らしたことがなくても、熱い思いを持ち続ける“同郷の志”は同じようです。いま、ちょうど第三期。新世紀に羽ばたく大事な入口にさしかかったところです。

平成14年・徳島県九州事務所・作より

昭和30年前半ではなかったかと？随分昔の事で記憶は定かではありませんが・・・発起人は当時の熊本商科大学の教授をしておられた、蒲池先生、熊本大学の四宮教授・・・井上教授・・・有田事務官・・・を始め民間からは金剛の谷脇社長・・・光視堂の城恒夫社長・・・早崎商店早崎社長・・・等々、事務局を金剛に置き催事は主に谷脇社長の起案によって進められていたと思います。鳴門会の単独の催しとしては・・・阿蘇山観光・・・霊台橋・通潤橋・眼鏡橋等々天下の石橋巡り・河内のみかん狩り・天草歴史資料館巡り・等々私の当番理事時代の思い出です。

喜多 秀雄

過去の九州徳島県人会の大会

昭和62年	3月24日	鹿児島	
昭和63年	3月22日	宮崎	
平成1年	3月25日	大分	
平成2年	3月25日	福岡	
平成3年	3月9日	熊本	菊南観光ホテル
平成4年	4月7日	鹿児島	
平成5年	4月7日	宮崎	
平成6年	4月17日	大分	
平成9年	10月9日	長崎	『雲仙』
平成13年	2月8日	福岡	
平成14年	7月26日	熊本	アソシエイト阿蘇
平成15年	11月11日	福岡	北九州
平成14年	徳島県九州事務所閉鎖		

熊本徳島県人会歴代会長・役員

昭和57年4月10日 鳴門会総会にて誕生

初代会長 大櫛平三郎

昭和59年	会 長	四宮知朗	当番理事	大櫛三喜雄				
昭和60年	会 長	四宮知朗	当番理事	城 恒夫				
昭和61年	会 長	谷脇源資「代行」	当番理事	早崎隆平				
昭和62年	会 長	井上 覚	当番理事	早崎八千代				
	副会長	谷脇源資	理事	有田文雄	大串三喜雄	喜多秀雄	城常夫	
		仁木一男	早崎隆平					
昭和63年	会 長	井上 覚	当番理事	逢坂久雄	会計監事	中川義澄		
	副会長	谷脇源資	理事	有田文雄	大串三喜雄	喜多秀雄	城常夫	
		仁木一男	当番理事	早崎八千代				
平成1年	会 長	井上 覚	当番理事	逢坂久雄	会計監事	中川義澄		
	副会長	谷脇源資	顧問	有田文雄				
	理 事	大櫛三喜雄	喜多秀雄	城恒夫	仁木一男	早崎隆年		
平成2年	会 長	井上 覚	当番理事	城 恒夫	会計監事	中川義澄		
平成2年	会 長	井上 覚	当番理事	仁木一男	会計監事	中川義澄		
平成3年	会 長	谷脇源資	当番幹事	仁木一男	会計監事	中川義澄		
平成4年	会 長	谷脇源資	当番幹事	仁木一男	会計監事	中川義澄		
平成5年	会 長	谷脇源資	当番幹事	逢坂久雄	会計監事	中川義澄		
	理 事	大串三喜雄	喜多秀雄	城恒夫	仁木一男	早崎隆平		

平成 6 年	会 長	谷脇源資	当番幹事	逢坂久雄	会計監事	中川義澄
平成 7 年	会 長	谷脇源資	当番理事	逢坂久雄	会計監事	中川義澄
平成 8 年	会 長	谷脇源資	当番理事	逢坂久雄	会計監事	中川義澄
	理 事	大櫛三喜雄	久我明美 幸田秀穂 長瀬清次 仁木一男			
		早崎隆平				
平成 9 年	会 長	谷脇源資	当番理事	逢坂久雄	会計監事	中川義澄
平成 10 年	会 長	谷脇源資	当番理事	久我明美	会計監事	國見文代
	理 事	大櫛三喜雄	逢坂久雄 喜多秀雄 幸田秀穂 中川義澄			
		仁木一男 早崎隆平				
平成 11 年	会 長	谷脇源資	当番理事	幸田秀穂	会計監事	國見文代
	理 事	大櫛三喜雄	喜多秀雄 國見文代 幸田秀穂 中川義澄			
		早崎隆平				
平成 12 年	会 長	谷脇源資	当番理事	幸田秀穂	会計監事	國見文代
	理 事	大櫛三喜雄	喜多秀雄 久我明美 中川義澄 長瀬清次			
		仁木一男				
平成 13 年	会 長	谷脇源資	当番理事	幸田秀穂	会計監事	國見文代
	理 事	大櫛三喜雄	中川義澄 喜多秀雄 久我明美 國見文代			
		長瀬清次 早崎隆平				
平成 14 年	会 長	谷脇源資	当番理事	幸田秀穂	会計監事	國見文代
平成 15 年	会 長	谷脇源資	当番理事	幸田秀穂	会計監事	立山廣子
	理 事	長瀬清次	藤見博 谷脇勝彦 國見文代 宇山富雄			
		久我明美 城憲一 内田英雄				
平成 16 年	会 長	谷脇源資	当番理事	藤見 博	会計監事	立山廣子
	理 事	内田英雄	宇山富雄 久我明美 城憲一 谷脇勝彦 藤見博			
		長瀬清次 國見文代 坂本正 清重尚弘				
平成 17 年	会 長	谷脇源資	当番理事	藤見 博	会計監事	立山廣子
	副会長	長瀬清次	宇山富雅			
	理 事	内田英雄	城憲一 多田政喜 久我明美 國見文代			
		谷脇勝彦 坂本正 清重尚弘 坂本正 林龍太郎				
全国交流大使認定						
		谷脇源資 長瀬清次 宇山富雅 藤見博 清重尚弘 坂本正				
		多田政喜 谷脇勝彦 國見文代 林龍太郎				
平成 18 年	会 長	谷脇源資	当番理事	藤見 博	会計監事	立山廣子
	副会長	長瀬清次	宇山富雅			
	理 事	内田英雄	宇山富雄 城憲一 多田政喜 久我明美			
		國見文代 谷脇勝彦 坂本正 清重尚弘 坂本正 林龍太郎				

全国交流大使認定		谷脇源資 長瀬清次 宇山富雅 藤見博 清重尚弘 坂本正					
		多田政喜 谷脇勝彦 國見文代 林龍太郎					
平成19年	会 長	谷脇源資	当番理事	藤見 博	会計監事	國見文代	
	副会長	長瀬清次	宇山富雅				
	理 事	内田英雄	城憲一	多田政喜	久我明美	國見文代	
		谷脇勝彦	坂本正	清重尚弘	林龍太郎	立山廣子	
全国交流大使認定		谷脇源資 長瀬清次 宇山富雅 藤見博 清重尚弘 坂本正					
		多田政喜 谷脇勝彦 國見文代 林龍太郎					
平成20年	会 長	谷脇源資	当番理事	藤見 博	会計監事	國見文代	
	副会長	長瀬清次	宇山富雅				
	理 事	内田英雄	城憲一	多田政喜	久我明美	立山廣子	
		谷脇勝彦	坂本正	清重尚弘	林龍太郎		
全国交流大使認定		谷脇源資 長瀬清次 宇山富雅 藤見博 清重尚弘 坂本正					
		多田政喜 谷脇勝彦 國見文代 林龍太郎					
平成21年	会 長	谷脇源資	当番理事	多田政喜	会計監事	國見文代	
	副会長	長瀬清次	宇山富雅				
	理 事	内田英雄	宇山富雄	城憲一	久我明美	谷脇勝彦	藤見博
		立山廣子	谷脇勝彦	坂本正	清重尚弘	林龍太郎	
全国交流大使認定		谷脇源資 長瀬清次 宇山富雅 藤見博 清重尚弘 坂本正					
		多田政喜 谷脇勝彦 國見文代 立山廣子 林龍太郎					
平成22年	会 長	谷脇源資	当番理事	多田政喜	会計監事	國見文代	
	副会長	長瀬清次	宇山富雅				
	理 事	藤見博	久我明美	坂本正	清重尚弘	谷脇勝彦	立山廣子
		敷島芳江	林龍太郎				
全国交流大使認定		谷脇源資 長瀬清次 宇山富雅 藤見博 清重尚弘 坂本正					
		多田政喜 谷脇勝彦 國見文代 林龍太郎					
平成23年	会 長	長瀬清次	当番理事	内田英雄	会計監事	林龍太郎	
	副会長	宇山富雅	多田政喜				
	理 事	藤見博	久我明美	坂本正	清重尚弘	谷脇勝彦	國見文代
		立山廣子	敷島芳江				
全国交流大使認定							

谷脇源資 長瀬清次 宇山富雅 藤見博 清重尚弘 坂本正
多田政喜 谷脇勝彦 國見文代 林龍太郎

平成23年事業

23年1月22日(土) 理事会・総会・新年会

出席者 22名

23年4月11日(土)理事会 出席者 6名

23年7月30日(土)理事会 出席者 10名

23年8月10日 全国代表者会議 長瀬清次会長

23年8月20日(土)ゴルフコンペ参加者 8名

23年8月20日(土)納涼会 出席者 19名

23年10月24日～25日 全国交流大使会議『藤見博交流大使』

23年12月 3日 理事会『鶴屋百貨店』 出席者 8名

平成24年 会長 長瀬清次 当番理事 内田英雄 会計監事 林龍太郎

副会長 宇山富雅 多田政喜

理事 藤見博 久我明美 坂本正 清重尚弘 谷脇勝彦 國見文代

立山廣子 敷島芳江

ゴルフ委員 谷脇勝彦

旅行実行委員 國見文代

全国交流大使認定

谷脇源資 長瀬清次 宇山富雅 藤見博 清重尚弘 坂本正
多田政喜 谷脇勝彦 國見文代 林龍太郎

平成24年事業

1月22日・理事会・出席者 7名

1月22日・総会 出席者 25名

1月22日・新年会 出席者 25名

4月 ・全国事務局会議『欠席』

4月22日・全国代表者会議『沖縄県』 長瀬清次会長・幸子夫人・内田英雄

5月12日・第2回理事会 出席者 8名

5月24日・ゴルフコンペ 出席者 8名

7月・徳島ヴォルティス応援 出席者 8名

8月26日・第3回理事会・出席者 8名

8月26日・夏季懇親会 出席者 24名

9月24日・ゴルフコンペ 出席者 8名

10月 ・国民文化祭・総合フェスティバル『欠席』

10月 ・全国交流大使『欠席』

11月・五木紅葉狩り旅行 出席者 8名

11月・第4回理事会 出席者 6名

平成25年 会長 長瀬清次 当番理事 内田英雄 会計監事 林龍太郎
副会長 久我明美 谷脇勝彦
理事 清重尚弘 敷島芳江 立山廣子 藤見博 坂本正 多田政喜
國見文代 宇山富雅 敷島芳江
ゴルフ委員 谷脇勝彦
旅行実行委員 國見文代

交流大使

谷脇源資 長瀬清次 宇山富雅 藤見博 清重尚弘 坂本正
多田政喜 谷脇勝彦 國見文代 林龍太郎

平成25年 3月藤見博氏逝去 77歳

交流大使追加・敷島芳江、山下恵美子2名

25年度事業報告

1月27日・理事会 出席者 7名

1月27日・総会 出席者 22名

1月27日・新年会 出席者 22名

5月 1日～四国瀬戸内物産展時、県人会案内チラシ

5月24日・全国事務局会議「徳島市」 内田英雄事務局

5月27日・第2回理事会 出席者 6名

7月25日・第1回ゴルフコンペ 出席者 7名

8月10日・全国代表者会議「徳島市」 長瀬清次会長

8月21日・徳島ヴォルティス応援「うまかな・よかなスタジアム」 10名

8月25日・第3回理事会 出席者 8名

8月25日・夏季懇親会 出席者 28名

9月 8日・天皇杯徳島ヴォルティス応援「うまかな・よかなスタジアム」 4

10月19日・天草旅行 出席者 22名

11月8日・第4回理事会 出席者 8名

11月1日・全国交流大使『欠席』

平成26年 会長 長瀬清次 当番理事 内田英雄 会計監事 林龍太郎
副会長 谷脇勝彦
理事 久我明美・清重尚弘 敷島芳江 立山廣子 坂本正 國見文代
宇山富雅
ゴルフ委員 谷脇勝彦
旅行実行委員 敷島芳江

交流大使

谷脇源資 長瀬清次 宇山富雅 清重尚弘 坂本正
多田政喜 谷脇勝彦 國見文代 林龍太郎 敷島芳江 山下恵美子